

# 令和4年度学力調査の結果について

## 全国学力・学習状況調査とは…

国が作成した調査問題を活用し、全国で取り組みます。義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てます。さらに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立します。（文部科学省資料に基づく）

小学校では、6年生で国語・算数・理科を実施しました。（4月19日）

## 石川県基礎学力調査とは…

石川県教育委員会が作成した調査問題を活用し、県全体で取り組みます。児童生徒の学習の定着を把握し、今後の学習活動の改善に役立てようとするものです。また、学習や生活面に関する質問紙調査も行います。なお、本調査より測定できるのは、学力の特定の一部分です。（県教育委員会資料に基づく）

小学校では、4年生で国語・算数、6年生で社会を実施しました。（4月18日）

## 全体到達度の比較（全国平均・県平均・本校の平均）

学年・教科	全国平均との比較	県平均との比較
県基礎学力調査4年国語		同程度
県基礎学力調査4年算数		やや下回る
県基礎学力調査6年社会		やや上回る
全国学力・学習状況調査6年国語	同程度	やや下回る
全国学力・学習状況調査6年算数	やや上回る	やや下回る
全国学力・学習状況調査6年理科	同程度	下回る

※結果は「上回る・やや上回る・同程度・やや下回る・下回る」の5段階で示しています。

## 教科ごとの様子から

4年国語	○ 本や文章を読んでわかることを書く ローマ字を読んだり書いたりする
	▲ 友達のスピーチを聞いた感想を書く 文章を条件に合わせて書く
6年国語	○ 話し言葉と書き言葉の違いに気を付けて書く 伝え合いから自分の文章のよいところを見つける
	▲ 話し合いでの発言や質問の理由を考える 文章の表現の効果を考える

基礎的な学習の定着や学び合いによる学習の深まりが表れています。

今後、「話し合いで相手の発言の意味を考えたり自分の考えをもったりすること」を、より丁寧に指導していきます。

4年算数	○ 足し算・引き算・割り算を計算する 式の意味を考える
	▲ 長方形の定義を説明する 計算の仕方や考え方を説明する
6年算数	○ 目的に合ったグラフを選ぶ 掛け算を計算する
	▲ 目的に合った計算の仕方を考える 割合の意味や求め方を説明する

正確な計算の定着、式やグラフの表す意味についての理解に深まりがみられています。

今後、「図形の定義」や「考え方の説明」を、より丁寧に指導していきます。

6年社会	○ 県の自然や産業・ごみの処理・工業の様子を理解している
	▲ 日本の位置や河川の特徴を説明する 資料から考えたことを説明する
6年理科	○ さらにやってみたい実験を考える まとめの根拠を考える
	▲ 光の性質を理解している 予想から結果を考える 実験方法を見直す

学習内容の定着の様子を分析し、補充学習や発展学習などを検討しています。

本校では、授業づくり（学校研究）の重点として、「①考えをもつための手立ての工夫」「②考えを伝え合う場の工夫」を設定しています。

今後、子どもがより学習内容に意欲とともに考えがもてるように、「②考えを伝え合う場の工夫」を中心に、「考えを説明すること」や「相手の考えを取り入れること」といった学び合いを重視し、子どもの『表現力』を育てていきます。